



編集・発行
熊日多良木販売センター
 (代)小出堅太郎 小出忠紹
 石田敏郎 尾前竜二 湯山高志
 球磨郡多良木町大字多良木 356-1
TEL 42-3355
FAX 49-1726
<http://www.taragi.com/>

当社のホームページ・ブログをご覧ください

10月号

和やかムードの「日本の踊り教室」

多良木町生涯学習



10月18日に多良木町交流館石倉にて多良木町生涯学習「日本の踊り教室」（講師：花柳 輔多恵（池崎幸子）先生）が行われました。

この教室は月2回・第1・3火曜日に開かれ、日本五代流派の花柳流の先生のもと、基礎の「さくら さくら」や「端唄」、現在はフランス映画「ヴォーグ」の曲なども取り入れ、踊りを練習されています。

講師の花柳先生は「踊りは体力勝負だし、上手くなるまで10年くらいかかると言われている花柳流の踊りを皆さん一生懸命練習されていて、自分も教える意欲が増します」とコメント。学級長の源揖美さんは「初めて3年目、昔から先生の踊りに憧れていた。教えられると聞き、すぐ受講を決めた。踊りは美と健康の為にいいのでこれからも続けていきたい」と意欲満々な話をされました。

踊りを難しく考える人が多いと思いますが、この学習のムードは和やかで楽しく練習されています。

伝統文化なども学べる日本の踊りを、皆さんも体験してみたいはかがででしょうか？



上手にできました。調理実習



10月10日（月）～15日（土）に、青少年育成会議主催の「第9回えびすっ子ステイ（5泊6日の体験学校）」が、県立多良木高校のセミナーハウスで開催されました。子どもが親元を離れて生活し「自分の事は自分です」と共に、自主自立・感謝の心を学ぶことを目的に、毎年開催されています。今年の参加は19人でしたが、今年は新しく調理実習も実施しました。この調理実習は、婦人会さんや、ヘルスマイトさんに指導をいただき、夕食を3回作りました。初めて調理する子にはちょっと難しかったかもしれませんが、自分たちが作った料理を美味しく食べていました。また、最終日前夜に実施した「さよならパーティー」では、近年恒例になった「肝だめし」を行いました。団員が仮装し、子どもたちを驚かすのが最大の見せ場。怖くてリタイヤした子もいましたが、最後まで楽しんでもらえて嬉しく思っています。「えびすっ子ステイ」を通し、別の小学校の生徒とも友達になれたし、洗濯・掃除・配膳なども身に付いたので、家の人が忙しい時には手伝いをして下さいねそして、忙しい時間の中に、朝食・夕食を作って下さったヘルスマイトさん、婦人会さんには感謝しています。ありがとうございました。来年は参加者が増えるように、今年の反省点や、良い点などを活かし「えびすっ子ステイ」のアピールをしていきたいです。
 （多良木町青年団・生活部長 寺田敏哉）

熊日で夏の思い出を！プレゼントキャンペーン

第2回：8月16日～9月15日 当選者の喜びの声

多良木町多良木 ^{みやけいちこ} **三宅一子さん**
 温泉ペア宿泊券（上天草・小松屋渚館）が当選
 当選したことを最初に知り合いの方に教えてもらって驚き、次に紙面で見ると驚き、2重に驚きました。

こういうのは初めてなので、とにかくびっくりです。期限が来年の3月まで大丈夫なので、娘夫婦とゆっくり決めて一緒に行きたいと思っています。新鮮なお魚料理が楽しみです。



（初めて調理に挑戦する子供達）



木希記

◆多良木の木は漢字の十と八が組み合わさってできていますね。半月ほど過ぎましたけれど十月八日は「木の日」でした。この十にちなむ熟語を手元の国語辞典で拾ってみました。「十色」はそれぞれ持ち味があっていいというように含みもありますけれど「十人並み」「十把一からげ」とくると、その他大勢みたいで面白くありません◆もちろん「一」を聞いて十を知るような頭の回転の早い人もいます。でも平凡な生活を送るには「この人に頼めば」「十中八九間違いない」と信頼される程度の、そんななに出ないくらいいの生き方こそお勧めも◆作家の曾野綾子さんが「なせば成るは間違い。なかなか思い通りにならぬのが人生。気負いたって突っ走っては道を間違える。突っ走るだけでよければ日本は戦争に負けなかつたはず」と話しておられました。なるほど◆考え方はそれこそ十人十色、なせば成らぬと反論もありましょう。まあ、物事は柔軟に、そして十二分な計画を立てて動くという指針ととらえれば…、っ

趣向こらした運動会

特養施設あずみ野
むつみ保育園



多良木町の特別養護老人ホームあずみ野（那須豊子施設長）とむつみ保育園（那須弘文園長）のふれあい運動会が、10月6日にあずみ野で開催されました。今年で15回目となる同運動会は、主にあずみ野利用者と園児による対抗戦と、園児によるマーチングや遊戯の発表という2つの形式で行われました。「玉まわし」や「枯れ木に花を咲かせましょう」など、趣向を凝らしたプログラムに、競技者はもちろん、観客側も手に汗を握りながら応援し、大変盛り上がりました。また発表の部では年長組による「幼年消防通常点検」や、大きなバルーンを型取る遊戯「ストーリー」などを発表し、利用者らから大きな拍手を浴びました。参加者である同町上ノ原の松岡忠さん（91歳）は「いまの子供達は、とてもハキハキしていて良いですね。私自身は歳をとったなあ」と感想を述べておられました。また「お遊戯をした時に、おばあちゃんが上手ねえと、言ってくれてうれしかったです」と



同保育園ばら組（年長組）の宮本将汰くん。世代を超えた交流会は、大盛会のうちに幕を閉じました。

体に優しい料理を作っちゃいました！

多良木町立久米小学校の2年生（菱谷慶学年委員長）14名が10月23日にあさぎり町上のふれあい物産館で、おからクッキーと豆腐の手作り体験に挑戦しました。同館の宮内さんの指導で、親子2組づつの班に分かれて作りましたが、皆さん思っていた以上に、上手に美味しくできたようです。お父さんと一緒に参加した菱谷航宇くんは「初めての豆腐作りだったけど、けっこう上手にできたし、自分たちで作った豆腐はとても美味しかったです」と満足そうでした。



「おからクッキーと豆腐作り体験」に参加した皆さん

『くまようからひろげよう えがおキラキラ みんなのパワー』

熊本県立球磨養護学校



球磨養護学校では、10月23日（日）に「くまよう祭」を開催しました。児童生徒みんなの願いが届き、祭日和の最高の秋晴れ！「くまようからひろげよう えがおキラキラ みんなのパワー」のスローガンのもと、児童生徒は笑顔満開で、たくさ

んのお客様にご来場いただき、大盛況の楽しい一日となりました。地域の皆さん、ありがとうございました。（原稿・写真：熊本県立球磨養護学校）

園児紹介

第一保育所



きく組・もも組
担任：吉鶴緑先生
黒木綾子先生
きく組：年長11名
もも組：年中2名
「えびす祭り」で和太鼓とお遊戯を披露しました。今度は11月19日の童話会に向けて練習を頑張っています。ぜひ見に来てください。

多良木警察署だより

「ひのくにピカピカ運動」実施中

☆ 平成23年10月15日（土）～平成24年2月29日（水） ☆

例年、秋から冬にかけては日没が早まり、夕暮れから夜間にかけての交通事故が多発する傾向にあります。また、霧による交通事故も数件発生しております。つぎのことを守り交通事故を防止しましょう。

- ☆ **反射材の活用** ☆
 - 夜間に外出するときは、反射材を活用するとともに、明るい服装に心掛け、ドライバーから目立つようにしましょう。
- ☆ **前照灯の早め点灯と上向き点灯** ☆
 - 夕暮れ時には、意識して前照灯を早めに点灯し、自分の車の存在を周囲に知らせましょう。
 - 対向車や前を走る車がないときは、前照灯を上向きで点灯し、歩行者の早期発見に努めましょう。（原稿提供：多良木警察署）

